

第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

名称	広島県ホテル旅館生活衛生同業組合			
住所	広島市中区河原町1-26 広島県環衛ビル6F			
代表者氏名	理事長 木村 龍史			
連絡先	082-296-1021			
構成員	別紙 構成員一覧表 参照 (うち補助対象事業者7者、計画時8者)			
団体事業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	(1)Wi-Fi整備 5件 (2)トイレの様式化 1件 (3)サイトの多言語化 1件 (5)案内表示の多言語化 1件 (7)翻訳システムの導入 1件 (9)マニュアル 1件 (10)その他 2件		
	実施時期	平成28年10月13日～平成28年12月20日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助金対象経費合計 10,866,800円 補助金合計 4,873,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	82.2 (%) (83.0%)	85.4 (%) (85.9%)	88.1 (%)
	第2四半期	84.4 (%) (85.5%)	86.6 (%) (87.3%)	88.4 (%)
	第3四半期	82.5 (%) (83.9%)	85.5 (%) (86.5%)	86.3 (%)
	第4四半期	75.6 (%) (77.8%)	81.4 (%) (83.5%)	78.3 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>稼働率についてはH27対比で100.6%、目標に対して96.8%と目標を下回りましたが、補助金を辞退した一社を除けば、99.4%とほぼ目標どおりの結果であった。目標未達の主な原因については、広島でも新規ホテルやリニューアルなどがあり響いたと各ホテルからの声でした。</p> <p>今後も数件のホテル開業予定があり、稼働率に関しては、今後更に厳しい状況が続くとの声が多くありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年度は、広島でインターハイや大型イベントもあったが、本年度は集客に大きく寄与するようなイベントが少なかった。 			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標></p>	<p><実績値></p>
	<p>第1四半期</p>	<p>16,688 (人) (16,600人)</p>	<p>22,000 (人) (21,800人)</p>	<p>26,515 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>19,831 (人) (19,697人)</p>	<p>23,978 (人) (23,678人)</p>	<p>23,941 (人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>19,010 (人) (18,798人)</p>	<p>23,793 (人) (23,293人)</p>	<p>22,407 (人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>14,274 (人) (14,218人)</p>	<p>17,801 (人) (17,601人)</p>	<p>17,668 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>外客宿泊数は、目標の104.8%・事業開始前129.7%と大きく伸ばすことが出来ました。</p> <p>特に第1四半期は、前年に来広されたオマバ大統領の効果もあり多くの外客がありましたが徐々に効果も薄れ第2四半期は減少してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別では宮島では来島人数、特に外来の方が多く利用者増に寄与した。 			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>今回の補助金で、インバウンド向けの環境整備やソフト面での対応を行う事が出来、各ホテル最低限のお迎えする環境は整備できましたが、今後は、ソフト面の対応として、各部署でも外国語対応なども不可欠との意見も多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在インバウンドは団体客が中心ですが今後は、個人客や少人数での利用が増えてくると思います。そういった中で海外旅行代理店などとの協業も今後考えていかないといけないと感じているとの意見もあった。 ・各ホテルの共通した意見は、上記でも触れましたが今後は、ソフト面では語学研修による語学力アップと設備面でまだまだ不十分な館内案内多言語を図って行きたい。 			

第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

名称	瀬戸内旅情 鞆の浦・尾道インバウンド推進協議会			
住所	〒720-0201 広島県福山市鞆町鞆421			
代表者氏名	村上 正高			
連絡先	084-982-1123			
構成員	① 株式会社鞆スコレ・コーポレーション ホテル鷗風亭 (代表：村上正高) ② 株式会社鞆スコレ・コーポレーション 景勝館漣亭 (代表：村上正高) ③ 有限会社TM・クロックワーク 汀邸遠音近音 (代表：村上正高) ④ 山陽工業株式会社 尾道国際ホテル (代表：取締役社長高橋宏明) ⑤ 山陽工業株式会社 尾道ロイヤルホテル (代表：取締役社長高橋宏明) ⑥ 山陽工業株式会社 尾道第一ホテル (代表：取締役社長高橋宏明) (構成員及び補助対象事業者共に6者)			
団体事業	具体的な内容	なし		
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	HP多言語化6件、Wi-Fi整備4件		
	実施時期	平成28年6月1日～平成28年10月8日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 11,989,000円 補助金合計 円 5,424,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	68.5 (%)	72.0 (%)	73.2 (%)
	第2四半期	71.5 (%)	75.0 (%)	75.7 (%)
	第3四半期	73.4 (%)	77.0 (%)	72.0 (%)
	第4四半期	64.0 (%)	67.5 (%)	68.8 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>稼働率達成の理由(第1・第2・第4四半期)</p> <p>⇒自社サイトの多言語化と並行して、海外OTAを通じた販売強化策が功を奏し、外国人FITが大幅増加したため。(特に尾道3施設において)</p> <p>⇒尾道3施設においてはビジネス(船舶・売船関係)やしまなみ海道のサイクリングツアー関連で利用される外国人客が多かったため。</p> <p>⇒閑散期対策で県内客特別優待プランを適切な時期に告知した結果、うまく集客につながったため。</p> <p>⇒国内OTAにおいてタイムセールプランやクーポン販売なども施策を活用し個人客を集客できたため。</p> <p>⇒第1四半期は、国内外のFIT増加に加えて、早い段階の営業が功を奏し、例年を上回る日数の募集ツアー(関西圏からのバス周遊)が設定できたため。</p> <p>⇒鞆の浦地区3施設においては、WEB販促専門のコンサルティング会社と新たに契約し、海外OTAや多言語HP含む全てのWEB専用プランの見直し・見直しを実施した結果、訴求力が高まったため。</p> <p>稼働率達成の理由(第3四半期)</p> <p>⇒鞆の浦地区において、例年に比べて同時期の団体需要が低下し、FITでカバーしきれなかったため。</p> <p>⇒閑散期である12月のWEBを通じた販促効果が期待を下回り、今年の稼働を下回ったため。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標></p>	<p><実績値></p>
	<p>第1四半期</p>	<p>508(人)</p>	<p>660(人)</p>	<p>1098(人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>548(人)</p>	<p>722(人)</p>	<p>934(人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>690(人)</p>	<p>910(人)</p>	<p>826(人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>314(人)</p>	<p>414(人)</p>	<p>803(人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>外国人客達成の理由</p> <p>⇒自社サイトの多言語化と並行して、海外OTAを通じた販売強化策が功を奏し、外国人FITが大幅増加したため。</p> <p>⇒尾道3施設においてはビジネス(船舶関係)で利用される外国人客が多かったため。</p> <p>⇒尾道3施設においては、エリア全体のスポーツツーリズム(しまなみ海道のサイクリング等)のニーズの高まりを受けて、海外からの関連団体利用が増加したため。</p>			

	<p>⇒ 鞆の浦地区3施設においては、WEB販促専門のコンサルティング会社と新たに契約し、海外OTAや多言語HPにおいても全てのWEB専用プランの見直し・見直しを実施した結果、訴求力が高まったため。</p> <p>⇒ 近年せとうちDMOや大手旅行会社が企画実施しているFAMツアーによる海外旅行社や海外メディアの視察を積極的に受け入れた結果、エリアの魅力発信とともに当協議会構成の各施設のメディア露出も増え、インバウンドツアーの設定・催行が増加したため。</p>
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>今回のHP多言語化をきっかけとして、更なる外客宿泊者の獲得に向けて、引き続き以下の取り組みを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語化したHPにより、当地の有力観光資源の旬の情報をいち早く発信するとともに、宿泊施設のインバウンド受入体制が整備されていることをPRしていき、海外からの直接販売の増加を目指す。 ・広島県や福山市・尾道市・せとうちDMO・大手旅行会社が実施する海外プロモーションと連携して、ウェブサイト、SNS等により、施設のインバウンド受入体制強化を積極的に発信していく。 ・せとうちDMOが企画している欧米富裕層向け媒体に掲載してもらい認知度を少しずつ高める。 ・施設単体での認知度UPは難しいが、多言語HPにせとうちエリアの魅力を盛り込んでPRする。 ・現地旅行エージェントの視察といった機会を捉え、ツアー客の取り込みを強化する。 ・海外の大手OTAでも販売機会を逃さないように客室在庫を確保し宿泊プランもニーズに沿ったものを提供する。 ・尾道一鞆の浦航路の利便性や魅力でうまく訴求し、地域全体の周遊型観光を進めていく。 ・着地型観光（滞在プログラム）を地域の多様な関係者と推し進めて滞在提案をし、地域の魅力を訴えていく。 ・広島空港に就航している海外就航路線（台湾・香港・中国・シンガポール・韓国）からの誘客のため、現地旅行会社へのセールスを実施する。 ・欧米富裕層の取り込みを特に強化し、尾道や鞆の浦に溢れる魅力（歴史的な町並みや固有の文化・山海の自然・ロ

	<p>ーカルの食事) と彼らのニーズに沿った情報の発信を強化し、訴求力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none">・国内外で人気が高まっているしまなみ海道サイクリングの他、せとうちSEAPLANES (水陸両用機) や瀬戸内海のクルージング、シーカヤックといったコンテンツやアクティビティとともに魅力的な滞在提案をし、エリアに呼び込む。・当事業で実施した全館WIFI化だけでなく、手ぶら観光や電子決済・電話通訳といったサービスの導入を検討して海外旅行者の利便性を高め、スムーズなチェックイン/チェックアウト、館内案内・メニュー・献立の多言語化なども同時に進めることで滞在時の満足度 (ロコミ) UPを図る。
--	--

第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

名称	福山ホテル支配人会			
住所	広島県福山市延広町5-23 福山ホテル旅館組合内			
代表者氏名	河村博文			
連絡先	TEL084-923-0681 FAX084-926-8439			
構成員	① <u>福山プラザホテル</u> ② <u>ビジネスイン福山</u> ③ <u>福山ローズガーデンホテル</u> ④ <u>福山ロイヤルホテル</u> ⑤ <u>福山と〜ぶホテル</u> ⑥ 福山 ホテル 123 ⑦ 福山ニューキャッスルホテル ⑧ リッチモンドホテル福山駅前 ⑨ しまなみビレッジ ⑩ 福山ステーションイン 内補助対象事業者 5者 計画時 6者			
団体事業	具体的な内容	(3) 自社サイトの多言語化		
	実施時期	平成28年12月15日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費 30,000円 補助金 15,000円 平成28年度 福山ホテル旅館組合予算より		
個別事業	具体的な内容	(1) WiFi整備 3件 (3) 自社サイトの多言語化 1件 (5) 案内表示の多言語化 1件 (6) 客室の和洋室化 1件		
	実施時期	平成28年10月28日～12月25日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助金対象経費 5,623,000円 補助金合計 2,576,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	67.4 (%) (62.5)	79.6 (%) (70.1)	78.3 (%)
	第2四半期	69.1 (%) (70.3)	80.2 (%) (76.5)	74.7 (%)
	第3四半期	72.2 (%) (68.5)	81.5 (%) (77.2)	78.5 (%)
	第4四半期	75.9 (%) (62.0)	82.9 (%) (78.3)	70.4 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	第1四半期、第3四半期については、各施設とも目標を上回りました。要因としては、市内の企業（製造業）の好調に加え、福山観光コンベンション協会と協力し県内外のスポーツ団体に働きかけた効果により多数の団体が福山に			

	<p>来られました。第2四半期、第4四半期については、前後期にスポーツコンベンションが偏り稼働率が伸びませんでした。</p> <p>これについては繁忙日を当会、各関係機関と共有したうえで、営業をかける必要を感じました。</p> <p>現在、イベント情報、満室日などネット上で共有できるようにしています。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標></p>	<p><実績値></p>
	<p>第1四半期</p>	<p>3721(人) 139(人)</p>	<p>3985(人) 300(人)</p>	<p>215(人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>2921(人) 155(人)</p>	<p>3106(人) 330(人)</p>	<p>317(人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>3024(人) 156(人)</p>	<p>3324(人) 360(人)</p>	<p>302(人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>2594(人) 222(人)</p>	<p>2768(人) 400(人)</p>	<p>291(人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>いずれの四半期とも目標を達成できませんでした。</p> <p>都市構造上、工業（製造業）の関係の外客が多く、外客にむけた観光宣伝で上乗せを考えていました。</p> <p>体験型の観光のプログラムの実施などいたしましたが、こちらの数字も伸びていません。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>コンベンション誘致については、福山観光コンベンション協会、福山市観光課と旅行会社など関係団体とで上記あえるように稼働率、イベント情報、満室日を共有できるように働きかけていく予定です。2年後には新しくコンベンション機能をもった体育館が完成します。それを最大限に活用するためにも関係団体の協力がより必要になります。</p> <p>外客の獲得についても、オリンピックの強化練習、調整にメキシコの選手団が決まり、アピールの機会になると考えています。</p> <p>最近の外客の動向も変化に合わせて発信の方法など関係団体と協議していきます。</p>			

第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

名称	萩温泉旅館協同組合	
住所	山口県萩市大字唐樋町11番地	
代表者氏名	理事長 小枝 寿明	
連絡先	電話番号 0838-22-7599	
構成員	<p>萩の御厨 高大 ・ 萩本陣 ・ 萩城三の丸 北門屋敷 ・ 萩八景 雁嶋別荘 ・ 宵待ちの宿 萩一輪 ・ 萩観光ホテル ・ 萩の宿 常茂恵 ・ 萩グランドホテル天空 ・ リゾートホテル美萩 ・ 萩ロイヤルインテリジェントホテル ・ 夕景の宿 海のゆりかご 萩小町</p> <p>(構成員 11施設、うち補助対象事業者 11施設)</p>	
団体事業	具体的な内容	共通パンフレットの作成 (台湾語・英語) 各2,000部 A4 12ページ 両面カラー印刷
	実施時期	開始日 平成28年 7月27日 完了日 平成28年11月30日
	必要な資金の額及びその調達方法	750,000円 + 60,000円(消費税) = 810,000円 全額自己資金
個別事業	具体的な内容	(1)Wi-Fi整備 9件、(2)トイレの洋式化 6件、 (5)案内表示の多言語化 2件、(6)客室の和洋室化 2件、 (7)翻訳システム導入 1件
	実施時期	平成28年10月31日 ~ 平成28年12月30日
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 19,694,459円 補助金合計 9,612,000円

全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前> (平成27年度)	<目標> (平成29年度)	<実績値> (平成29年度)
	第1四半期 (4～6月)	63.0 (%)	65.4 (%)	59.7 (%)
	第2四半期 (7～9月)	64.6 (%)	68.6 (%)	64.3 (%)
	第3四半期 (10～12月)	66.7 (%)	69.0 (%)	70.9 (%)
	第4四半期 (1～3月)	51.1 (%)	59.7 (%)	53.6 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	<p>平成27年に萩を舞台とした大河ドラマの放送があり、宿泊客が例年より多く、その数値より高い目標設定をした為、平成29年も目標を達成できなかった時期があった。</p> <p>ただ、稼働率は、各四半期ともに前年より上昇しており、第3四半期においては、『やまぐちデスティネーションキャンペーン』が開催されたので、5ポイント以上増加となった。また、第4四半期は、週末になると天候不順（雪）となり、それらの影響があったと思われる。</p> <p>宿泊人数においては、近隣の観光施設（角島・元の隅稻荷神社）及び明治維新150年の話題性などにより、前年度より約4%増となりました。</p>			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前> (平成27年度)	<目標> (平成29年度)	<実績値> (平成29年度)
	第1四半期 (4～6月)	591 (人)	1,051 (人)	4,389 (人)
	第2四半期 (7～9月)	784 (人)	1,287 (人)	2,699 (人)
	第3四半期 (10～12月)	2,054 (人)	2,776 (人)	4,893 (人)
	第4四半期 (1～3月)	1,923 (人)	2,668 (人)	4,756 (人)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>山口県の政策により、県内空港からの国際定期便およびチャーター便が就航したことで、予想を上回る外客宿泊者数となった。</p> <p>山口県及び山口県観光連盟が実施するインバウンド誘致活動に、組合事業で作成した共通パンフレットを活用し、台湾及び韓国のツアー客が大幅に増加した。</p>
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>今回のWi-Fi整備やトイレ洋式化といったインバウンド対応を契機として、更なる外客宿泊者の獲得に向けて、特に以下の取組を強化していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や観光協会などが実施するプロモーションと連携して、ウェブサイト、SNS等により、地域及び施設のインバウンド受入体制強化を積極的に発信していく。また、現地旅行エージェントやプロガーの招請の機会を捉え、当地及び当該施設のPRを行い、ツアー客の取り込みを強化していく。 ・引き続き、全館におけるWi-Fi整備、トイレ洋式化を進めて、インバウンド受入体制の整備を促進していく。 ・北浦地域ということもあり、山陽地区及び大都市圏への若者流出が問題となっており、労働者の確保が困難となっています。外国人就労者を雇用できる機会等があれば、積極的に活用し、言語の問題に対応できる人材確保に努めていく。

第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

名称	松江玉造宿泊施設インバウンド対応協議会			
住所	島根県松江市玉湯町玉造32-7			
代表者氏名	皆美 佳邦			
連絡先	0852-62-0634			
構成員	松江玉造宿泊施設インバウンド協議会、皆美 佳邦 01佳翠苑皆美 皆美 佳邦、02ホテル玉泉 中村 真逸、03松 の湯 松崎 滋、04玉造グランドホテル長生閣 長谷川 延 正、05こんや 青砥 潤子、06清風荘 仲田 大作、07長楽園 長谷川 浩司 08てんてん手毬 神田 裕幸、09すいてんかく 大西 孝朋、10松江館 村上 美津野			
団 体 事 業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個 別 事 業	具体的な内容	(1) Wi-Fi整備 4件、(2) トイレの洋式化 3件、 (3) サイトの多言語化 1件、(5) 案内表示の多言語 化 1件、(6) 客室の和洋室化 1件		
	実施時期	平成28年10月6日～12月22日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 19,948,700円 補助金合計 8,068,000円		
全 体 稼 働 率 の 目 標 及 び 実 績 値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	68.0 (%)	70.4 (%)	75.2 (%)
	第2四半期	71.4 (%)	73.5 (%)	70.7 (%)
	第3四半期	80.4 (%)	81.7 (%)	75.5 (%)
	第4四半期	62.1 (%)	64.9 (%)	60.9 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>松江市と共同で台湾を中心に積極的にセールスをかけている。また広島から松江までのワンコインバス事業も今年度実施しており、F I Tの数字が顕著に表れています。秋については国内旅行の需要が高い状況です。第4四半期では、各施設とも、補助事業完了後となったが、雪によるキャンセルの影響、団体旅行からF I Tへシフトしていることもあり、人数は下回った。しかし、台湾・香港以外の国から宿泊されることが多くなった。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標></p>	<p><実績値></p>
	<p>第1四半期</p>	<p>2, 875 (人)</p>	<p>4, 019 (人)</p>	<p>4, 600 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>2, 597 (人)</p>	<p>4, 329 (人)</p>	<p>3, 510 (人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>3, 799 (人)</p>	<p>6, 109 (人)</p>	<p>4, 106 (人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>4, 121 (人)</p>	<p>6, 537 (人)</p>	<p>4, 261 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>団体旅行がF I Tに変化してきている。桜の時期は比較的增加傾向。事業完了が12月となり第4四半期を迎えたが、冬の雪によるキャンセルが影響した。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>受入に関するソフト面も強化を促していきたい。台湾・香港などLCCの影響でF I Tへシフトしている状況を受け止め、ネットエージェントへの情報発信をすすめ、目標に向かっていく。</p>			

第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

名称	湯田温泉旅館協同組合	
住所	山口県山口市湯田温泉5-2-20	
代表者氏名	宮川 力	
連絡先	083-920-3000	
構成員	<p>西の雅常盤・ホテルかめ福・ユウベルホテル松政・古稀庵・ホテルニュータナカ・松田屋ホテル・プラザホテル寿・西村屋・湯別当野原・梅乃屋・富士の家・ホテル喜良久・ビジネスホテルうえの・山水園・お多福・入船旅館・西京・ステイズイン山口湯田・一富士旅館・京栄旅館・スーパーホテル・一福旅館・グリーンリッチ山口湯田温泉</p> <p>(構成員23社、うち補助対象事業者5者)</p>	
団体事業	具体的な内容	
	実施時期	
	必要な資金の額及びその調達方法	
個別事業	具体的な内容	Wi-Fi整備 5件 トイレの洋式化 1件 館内案内標記の多言語化 1件
	実施時期	平成28年11月1日～平成28年12月30日
	必要な資金の額及びその調達方法	補助金対象経費合計 8,910,700円 補助金合計 4,183,000円

全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	45.8 (%)	48.0 (%)	51.3 (%)
	第2四半期	54.3 (%)	56.9 (%)	53.4 (%)
	第3四半期	58.7 (%)	62.3 (%)	51.7 (%)
	第4四半期	51.9 (%)	55.3 (%)	47.1 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	平成27年度「ねりんピック」開催(10月)平成28年度インターハイ(8月)と2年続けて大きな大会が開催され宿泊者数が大きく伸びたが、平成29年度はイベントがなく宿泊者数が減少した。また平成29年度は総選挙があり宿泊者数が伸びなかったことが、稼働率の目標未達の要因。			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	2,299 (人)	3,000 (人)	2,163 (人)
	第2四半期	796 (人)	1,500 (人)	1,628 (人)
	第3四半期	1,140 (人)	1,700 (人)	2,384 (人)
	第4四半期	1,198 (人)	1,900 (人)	1,712 (人)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	第1四半期及び第4四半期においては、これまで韓国からのゴルフツアーが宿泊(補助金対象I施設)していたが、今年度からゴルフ場内の宿泊施設に変更となったため目標が達成できなかった。第2四半期及び第3四半期は、台湾にむけて交流人口の拡大、例えば台北市温泉協会との姉妹提携や台北市においてスリッパ卓球での交流を図ったため台湾からの集客を伸ばすことができ目標を達成した。山口県主催の商談会へ参画することにより香港を含む中国からのFIT客が増加しており目標未達の一因と思われる。			
その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策	東アジア方面の宿泊者は順調に伸びてきているが、欧米からの客層が非常に少ないため、欧米の客層に向けた体験プランを設定し現地のランドオペレーターに実際に体験をしていただいた。体験ツアーは非常に好評であり、ツアーの設定を依頼している。広島まで来ている欧米客を山口湯田温泉まで足を延ばしていただくためのプランをより充実させていく。			